



豊橋市議会議員 中村 竜彦 市政レポート

<平成 23 年 11 月発行>

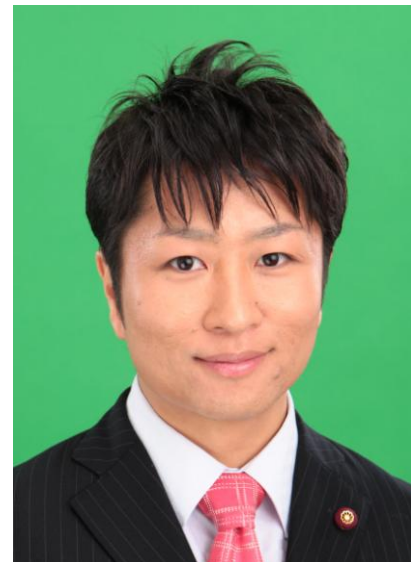
発行者：豊流会（豊橋市今橋町 1 豊橋市役所 7 F・豊流会議員控室）

TEL：0532-51-2931（直通）

議会報告（豊橋市議会 9 月定例会）

9 月議会で審議された主な議案は次の通りです。

- ① 23 年度一般会計補正予算
- ② 22 年度一般会計及び各会計決算
- ③ その他、条例改正・人事同意・報告案件など



豊流会政調会長
豊橋市議会議員 中村 竜彦

9 月議会の一番の特徴は前年度の決算認定を行うことです。

平成 22 年度予算は、平成 22 年 3 月議会で予算編成権を持つ市長により予算案が示され、議決権を持つ議会の審議を経て決定されました。そして 4 月から翌年 3 月末までの 1 年をかけて執行されたわけですが、その予算執行がキチンと当初の目的の通りに執行されているか否かを判定するのが 23 年度 9 月議会での決算特別委員会です。

私は、今回の決算特別委員会で、「水の展示館」について質疑しました。

———《以下、質疑内容（要旨）》———

【中村】最近散歩コースで人気の万場調整池。その横にある同施設は、水の大切さについて啓発を図る施設として、平成 22 年度は 517 万 5372 円の単費予算（市の単独経費）で指定管理者によって運営されており、ピーク時には 1 万 3000 人あった来館者数も年々減少、22 年度には初めて 7000 人台を割り込む最低の数字となった。そもそも昔と違い、ガソリンより高い飲料水をコンビニで買う時代となった今、改めて水の大切さを啓発する同館が本当に必要なのか、その存在意義について伺う。

【担当課主幹】たびたび湧水に見舞われる東三河において上流域の協力でこれまで大島ダムを整備や現在では設楽ダムなどの取り組みが進められている。節水型社会の構築は私たち下流域の責務であり、節水意識の啓発を行う同館の存在意義は非常に重要であると認識している。

【中村】指定管理者（コニックス株式会社）は、水の展示館のホームページを 21 年度から全く更新していない。イベント情報のページに平成 23 年 9 月 15 日（決算特別委員会当日）時点でも尚、21 年度のイベント参加募集のみ掲載されている状態である。指定管理者にやる気がなければ、市当局もひとたび委託してしまえば後は任せっきりの無関心。そんなところへ「来館者よ来い」と言って一体誰が来るのか。事業仕分けではないが本当に必要なのか、仮に目的は良しとしても効果的な手段になっていたのかを検証する意味で「水の展示館」は 22 年度決算の中で最も考えどころに来ており、私は今後廃止すべきと考えるが、今後の方向性について市長答弁を求める。

【市長】（ホームページの）状況把握をしていなかった事はまずもって反省申し上げる。指定管理者との契約はそらく 5 年間の約束なので、できれば今年 1 年はこの契約を継続し、これから先の半年を見て判断させて頂きたい。

———《 以 上 》———

私は、この決算特別委員会での議論を踏まえた来年度予算案が市長によって編成される